



創業70周年 技工団特集号



山口版

発行所 株式会社サンデー山口

〒753-0064 山口市神田町8-1
TEL 083-925-7912 FAX 083-923-8070
http://www.sunday-yamaguchi.co.jp
E-mail info@sunday-yamaguchi.co.jp
【山口版】配布エリア・山口市 発行部数・68,200部
発行日・毎週水、金、土曜日



技工団は、1946年の創業から、今年で70周年を迎えます。この間、多くの皆様方へ温かいご愛顧を賜り、またご支援、ご協力も頂きました。心よりお礼申し上げます。この70周年

ごあいさつ

株式会社技工団

代表取締役社長 作間悦次

は、次の100周年に向くさんの企業の建築工事のスタートだと肝に銘じ、これからも頑張ります。この間、さまざまに温かいご愛顧を賜り、またご支援、ご協力も頂きました。心よりお礼申し上げます。この70周年

「Rの基本的な考え方」と題した、会社の理念書のようなものを作成しました。これにより、社員全員のベクトル合わせが進み、ポトムアップ風土に変革し、自律できる企業をめざすとともに、お客様や地域社会にとって「お役に立てる」存在でありたいと、取り組んでまいります。

5月に70周年、次の100周年に向けて『自然体です、技工団。』



山口から」の活動に協賛して、山口中河原御茶屋跡の地にクリスマスツリーを植樹。周辺を整備した。

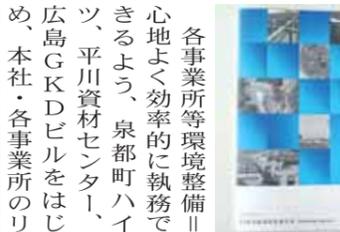
クリスマスツリーや4カ国語説明板を寄贈

土木建築の設計・施工・維持管理、石灰石採掘などの技工団(作間悦次社長)は、1946(昭和21)年5月5日の創業から、今年で70周年を迎える。 ※沿革は2面で紹介

同社は、「愛され、信かどうか。いつもこれが頼まれる建設企業であり、わたしどものモノサシでたい。自然との調和を大事」とし、「自然体です、切にしながら、確かな技術で地域の皆さんのお役に立ちたい」とも思っています。そして、70周年を記念して、次のような事業を実施した。

「CSRの基本的な考え方」作成。自分たちの会社のあるようや事業活動が、お客様、お取引先、社員、地域の人たちなどのステークホルダー(利害関係者)にどう「お役に立てるか」との視点で、今後の「ありたい姿」を取りまとめ。具体的には、11人のプロジェクトメンバーが中心に、全社員を巻き込んで、経営理念をCSRの手法で示した冊子を作成。経営理念の一層の徹底を図っていく。

4カ国語説明板寄贈。インバウンド促進の一助になればと考え、山口大神宮(滝町4)と熊野神社(熊野町2)に、それぞれ日本語・英語・中国語・韓国語を併記した説明板を設置した。



※CSRとは、「企業の社会的責任」と訳される。自社の利益を追求するだけでなく、その組織活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダーと良好な関係を保ちながら経営を続けることを指す。

ユニホーム・はんでん更新。動きやすさ、使いやすさ、技工団らしさを考慮したデザインに変更した。

70周年感謝告知。4月1日から、各事業所、作業所に70周年感謝告知の「のぼり」「ポスター」を掲示。職員は「ワッペン」を着用し、感謝の気持ちを表現する。



ドローン導入。スマートフォン標準化など。iPhoneノベリション意識の入口づくりを試行する。

《ご家族やご親戚、ご友人やお知り合いの方へお知らせください》 これは、求人広告です。

家族のため、自分のため、 山口で職を探しているあなたへ。

最近、親御さんの面倒を看るとか、介護が必要になったとか、兄弟が少なく自分が家を継がなければならなくなったとか、自分の健康状態のためとか、私たちも、色々なご事情でUターンが必要になってきた方々に出会いました。そういう方々の中に、ご縁があって私たちの会社に入社され頑張っていた方がいらっしやいましたら、こんな会社もあるよとお知らせください。出会いのチャンスになるかもしれません。そういうUターンをお考えの方々の受け皿として、この先もずっとこの少子高齢化社会の中で、私たちなりに、地域の「お役に立ちたい」と考えてみました。どうぞ、お声をかけて下さい。

【求めている人材】 土木・建築・鉱山技術者、事務営業系総合職
【応募方法】 まずはお電話ください。TEL083-922-2626(管理部 松田)

【会社情報】事業内容/土木・建築の設計・施工・維持管理、石灰石採掘、創業/1946年、資本金/50百万円、売上高/40億円、従業員数65名、事業所/山口市、広島市、美祿市、主要取引先/国土交通省、日本下水道事業団、山口大学、山口県、山口市、宇部興産、太平洋セメント、ブリヂストン、コマツ、その他民間企業など。



愛され、信頼される建設企業でありたい。
 自然との調和を大切にしながら、確かな技術で地域の皆さんのお役に立ちたいいつも思っています。
 そして、地域の皆さんに必要とされる企業でいることができるかどうか。
 いつもこれが私どものモノサシです。

『自然体です、技工団。』



「CSRの基本的な考え方」

ありたい姿を
描くための基本理念、
先人たちが引き継いだ考え方

私たちの価値観
自然体です、技工団。
柔道で、ごく自然に立ち上がった構えを「自然体」と呼びます。この構えにより、姿勢が整い、心の余裕がなくなり、しかも心身が高度に統一されます。実力も、素直に、平らかに、いつも自然体でいたい。それが技工団の基本姿勢です。人々が求めるのは、理知とともに寄り添っていきま。また、私たちに望まれることも、変にさまです。求められているものを「カタチ」にするために、時代の要求を真摯に受けとめ、柔軟に考え、作り上げていくことで、確実になていきます。

私たちの行動基準
シンボルカラー
Blue & Red
『知』と『力』・『冷静』と『情熱』
『計画』と『実行』
『ソフト』と『ハード』など、
相反するものを示し、時には矛盾することも受け止めながら、答えを出し、解決していく意志を示しています。

私たちの展望

- 自然と調和**
いたずらに技術を誇示することをせず、風雨に耐える堅牢さと自然に調和する美しいモノを創ります。
- 愛される企業**
ただ利益追求にはしるのではなく、仕事の効率化とコスト削減を、お客様に満足していただける企業活動を行います。
- 信頼と生きがい**
労働災害を防ぎ、働きやすい職場づくりに努め、全ての社員が仕事と人生に生きがいを感じます。
- 健全な経営基盤**
創業者の志を継ぎ、技術開発を進める一方で、合理的な経済活動によって、たくましく健全な経営基盤を築きます。

愛され、信頼される建設企業でありたい。
自然との調和を大切にしながら、確かな技術で、地域の皆さん、地域に貢献される皆さんの役に立ちたいという思いがあります。お客様と一緒にテーマを推し進め、問題を解決していくことが私たちの任務です。お客様に必要な企業であることができるかどうか、いつもこれが私たちのモットーです。

お客様と地域に依りたい私たちの姿勢

地域人気一番の建設企業を目指します
～山口県内の水先案内人でありたい～

県内一円に根ざし、県内の土木・建築・鉱山など建設産業を担うことで愛され信頼される建設企業を目指します。私たちは、いつもすぐ近くにお客様の企業立業・問題解決のお手伝いをします。県外企業のお客様には、山口県内への企業進出、企業誘致などどんなことでもお伺いします。水先案内人とは、真先に相談をうけたい、県内一円の案内役でありたいという思いを表しています。

3つの大きなテーマ

- 1 本業の実力強化
- 2 CSRの推進
- 3 健全な経営基盤の造成

沿革

1946年 5月 創業
1948年 3月 株式会社新日本技工団を設立
1952年 5月 株式会社技工団に商号変更

技工団の芽生えは、実は、中国大陸での出来事でした。創業者の作間正朝は、1932年、現在の熊本大学工学部の前身である熊本高等工業土木科を卒業し、その当時の若者たちが夢を抱いていた旧満洲である中国東北地区に渡り、南満洲鉄道株式会社に入社しました。鉄道建設の技術者として、また管理者として、身を奉じておりましたが、第2次世界大戦も終局に至り、1945年8月15日終戦。8月24日には、錦州鉄道局前の厚生会館に監禁されるという事態となりました。この時、若手の助役を集め、「日本に帰っても、永く故郷を離れていた我々には、知人も地盤もないから、立ち上がるのは、非常に難しい。日本に帰っても、分散することなく、団結して、我々の技術を活かして、戦後の日本の復興に努力しよう。大切なことは、団結の力である。」と、誓い合いました。これが、今日の技工団の精神的な芽生えだったのです。その後、軍により使役労働が要求されましたが、不公平にならないようにと、『錦州日本人技術建設団』という組織を結成し、組織として、軍からの、飛行場建設、鉄道建設、建物建設、道路建設などに応じました。このことは、その当時の日本人の生活

に大きなプラスとなりました。技工団の組織としての芽生えともいえるべきものでした。1946年、日本人送還の責任者であったため、最後の引揚げ船「雲仙丸」で、団員500人とともに、日本に帰る時がきました。一週間かけて博多港に入港。その時、船上から見たものは、博多の街の廃墟と化した惨状でした。そして、このような状況が、団結して国土再建に努めたいという先の考えをいっそう強いものにさせ、その実行を決意させました。『合作社技工団』の誕生です。役員、幹部は、選挙で決め、現役以外は認めないという仕事集団です。仙台、金沢、名古屋、大阪、山口、徳島、博多、松江に地方団を作ることになりました。山口の技工団は、257人。北海道、沖縄の出身者も参加しました。そして、食べるための苦闘が始まったのです。島根県の旧日原町、今は観光で有名になった津和野のとなりの町です。この地で、島根県庁から道路の改修工事があるがやってみるかという話があり、受諾。この仕事は、技工団のはじめての仕事になりました。以来、元々の鉄道建設の技術力で現在のJRの沖の山専用線、宇部小野田線、伊佐専用線などに参入、宇部地区工場群や炭坑採炭作業などへの参入、美祿や北九州の鉱山の参入、国・県・市町の仕事への参入などにも機会を得ました。その間、もちろん失敗も多くありましたが、土木・建築の設計・施工・維持管理、石灰石鉱山の採掘を中心に、現在に至っています。

会社概要

社名	株式会社 技工団 『技工団』という名前は、実は中国で付けられた名前です。『技』は技術者、『工』は中国の言葉で労働者を意味する工人「団」は組織を意味しています。当社の創業は、終戦もない1946年、満鉄引揚者の『技』と『工』が団結し、荒廃した国土の再建にあつたのが始まりです。	役員 取締役・理事 監査役	代表取締役 取締役 取締役 取締役 取締役 監査役	作間 悦次 (社長兼営業部長) 末永 正邦 (相談役) 伊藤 英彦 (鉱山部長兼 次世代特別構築担当) 片寄 薫 (建築部長兼 次世代特別構築担当) 田村 彰夫 (土木部長兼 次世代特別構築担当) 藤井 洋	技術資格者	技術士 (建設部門) 1名 技術士補 (建設部門) 1名 一級土木施工管理技士 30名 一級建築士 11名 一級建築施工管理技士 12名 一級管工事施工管理技士 3名 一級造園工事施工管理技士 4名 一級舗装施工管理技士 5名 コンクリート診断士 3名 推進工事技士 6名 J R工事管理者 8名 J R軌道工事管理者 4名 乙種上級保安技術員 5名 鉱山技術保安管理士 2名 甲種火薬類製造保安責任者 1名 甲種火薬類取扱保安責任者 26名 公害防止管理者 3名
本社所在地	753-0078 山口県山口市緑町6番13号	事業所など	□本社 〒753-0078 山口市緑町6番13号 083-922-2626 □広島支店 〒732-0057 広島市東区二葉の里一丁目1番72号 (JR広島駅前南口) 083-261-0850 □鉱山部 〒759-2222 美祿市伊佐町伊佐 (伊佐専用線伊佐工場内) 0837-52-0208 □平川資料センター 〒753-0851 山口市川原12269 □泉郷町八丁 〒753-0076 山口市泉郷町10番21号	許可・登録など	建設業許可 国土交通大臣許可 (特-27) 第3880号 一級建築士事務所登録 山口県知事登録第344号 品質マネジメントシステム ISO9001:2008 MSA-QS-1186 環境マネジメントシステム ISO14001:2004 MSA-ES-724 労働安全衛生マネジメントシステム OHSAS18001:2007 MSA-ES-61 地域建設業のBCP事業継続計画 (中国地域整備局長認定) 産業廃棄物処理業許可 (収集・運搬) 特定労働者派遣事業	
創業	1946年5月5日	取引銀行	みずほ銀行山口支店 山口銀行山口支店 日本政策金融公庫 下関支店	表彰	国土交通大臣表彰 (優良公共建築) 国土交通省中国地方整備局長表彰 (優良工事) 国土交通省中国地方整備局長表彰 (優良工事) 山口河川国運事務所長表彰 (優良工事) 山口県知事表彰 (優良工事) J I A日本建築家協会 25年賞ほか	
会社設立	1948年3月5日	主要取引先	国土交通省・日本下水道事業団・防衛省・法務省 ・農林水産省・山口大学・NEXCO西日本・JR西 日本・JA・山口県・山口市・宇部興産・太平洋セ メント・プリチストン・コマツ・中国電力ほか 民間企業・団体・個人			
創業者・歴代社長	作間正朝 (前代1946-1983年) 末永正邦 (2代1983-2008年)					
代表取締役社長	作間悦次 (3代2008年-)					
資本金	50,000千円 (2015年6月現在)					
社員数	117名 (職員67名+鉱山部従業員50名、2015年6月現在)					
事業内容	〔土木部〕 土木工事の設計・施工・維持管理 道路、トンネル、橋梁、ダム、上下水道、宅地造成、鉄道、 農林整備、公園、共同溝、ソーラー設備、地盤改良工事など 〔建築部〕 建築工事の設計・施工・維持管理 オフィスビル、店舗、医療・福祉施設、集合住宅、戸建住宅、 学校、スポーツ施設、その他施設など 〔鉱山部〕 石灰石鉱山の採掘・選別・運搬・関連工事など 宇部興産伊佐鉱山、太平洋セメント重安鉱山、宇部興産伊佐鉱山					
	〔その他〕 不動産賃貸、その他					

ありたい姿の概念



- 常に行動の規範とするもの**
- 行動規範 12項目**
- 1 三方よし
 - 2 笑顔、挨拶、清潔感
 - 3 段取りと先読み
 - 4 ソリューション
 - 5 学ぶ、教える、継承する
 - 6 組織力と自律風土
 - 7 安全と健康
 - 8 創意工夫、イノベーション
 - 9 経験と感性
 - 10 モノづくりの探求
 - 11 すぐやる、期限を切ってる、正確に動く
 - 12 安心感とわかり易さ
- マネジメントシステム
ISO9001
ISO14001
OHSAS18001

年度基本計画への流れ

「10月11日」事後評価・次期アセスメント

「12月2月」次年度基本計画策定会議

「4月」新年度キックオフ

サンデー山口(山口版)は、朝日・毎日・読売・中国・日経の5紙に折り込み、山口市全域(秋穂・阿知須・阿東・小郡・徳地・山口)へお届けしています。電子版は、<http://sunyama.soreccha.jp/>で公開中。

70th ANNIVERSARY SINCE 1946

おかげさまで
70周年
ありがとうございます。

